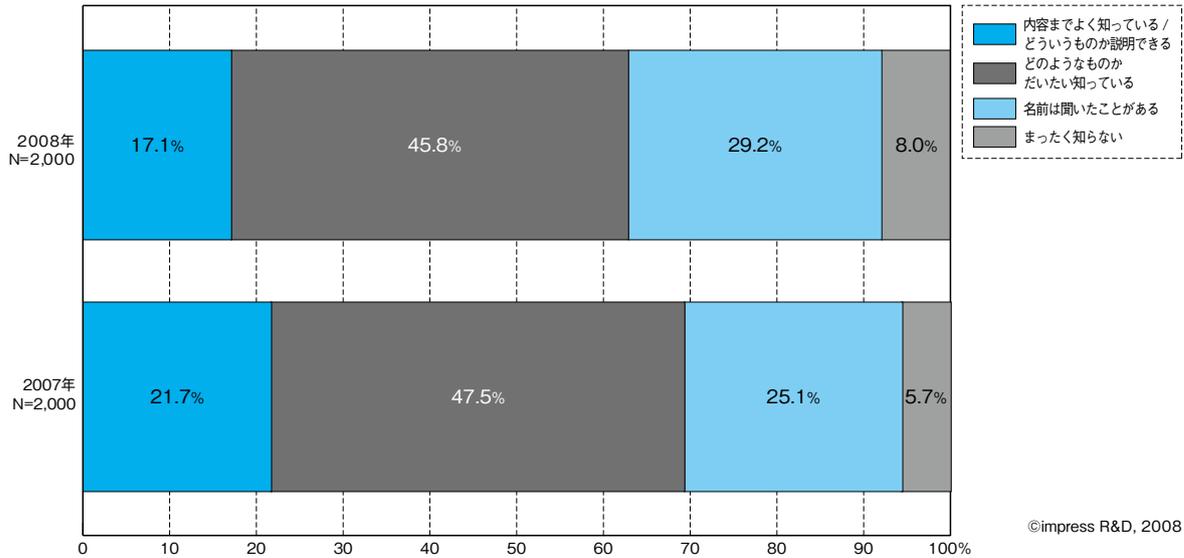


### ■ IP電話の認知度は92.0%とほぼ全員が認知

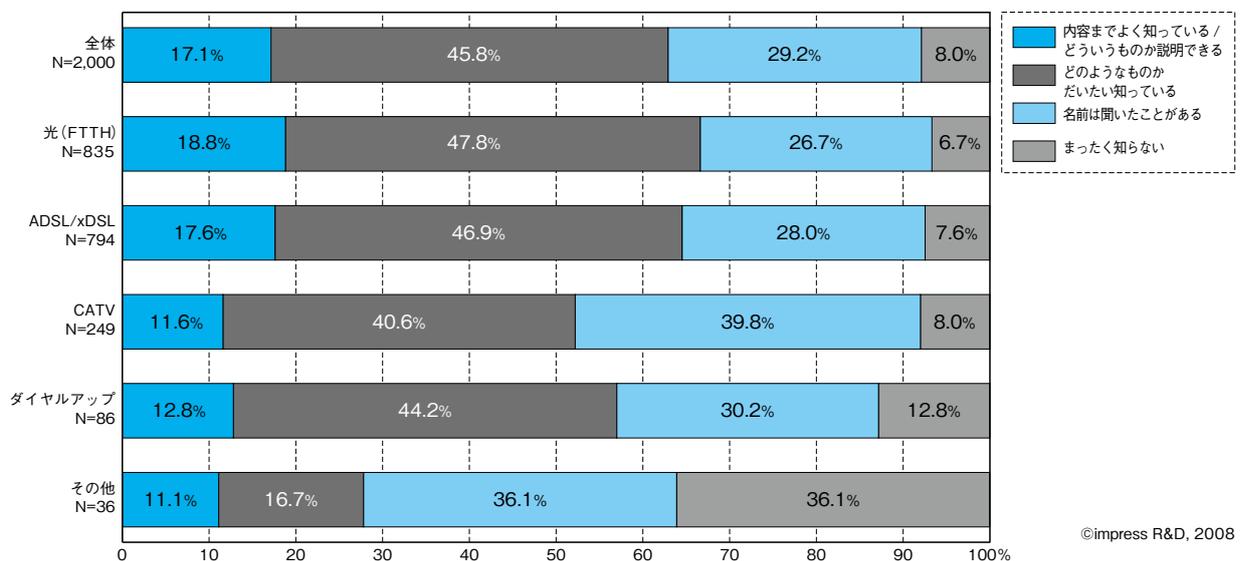
資料6-8-1 IP電話の認知度[2007年-2008年]



IP電話の認知度をみると、「名前を聞いたことがある」まで含めた認知度は92.1%に達し、ほぼ全員が認知していると言える。また、詳細まで理解しているインターネット利用者は17.1%となっている。昨年と比較すると若干低下しているものの、高い水準を維持している。

### ■ ブロードバンド利用者で特に高いIP電話認知度

資料6-8-2 IP電話の認知度[接続回線別]

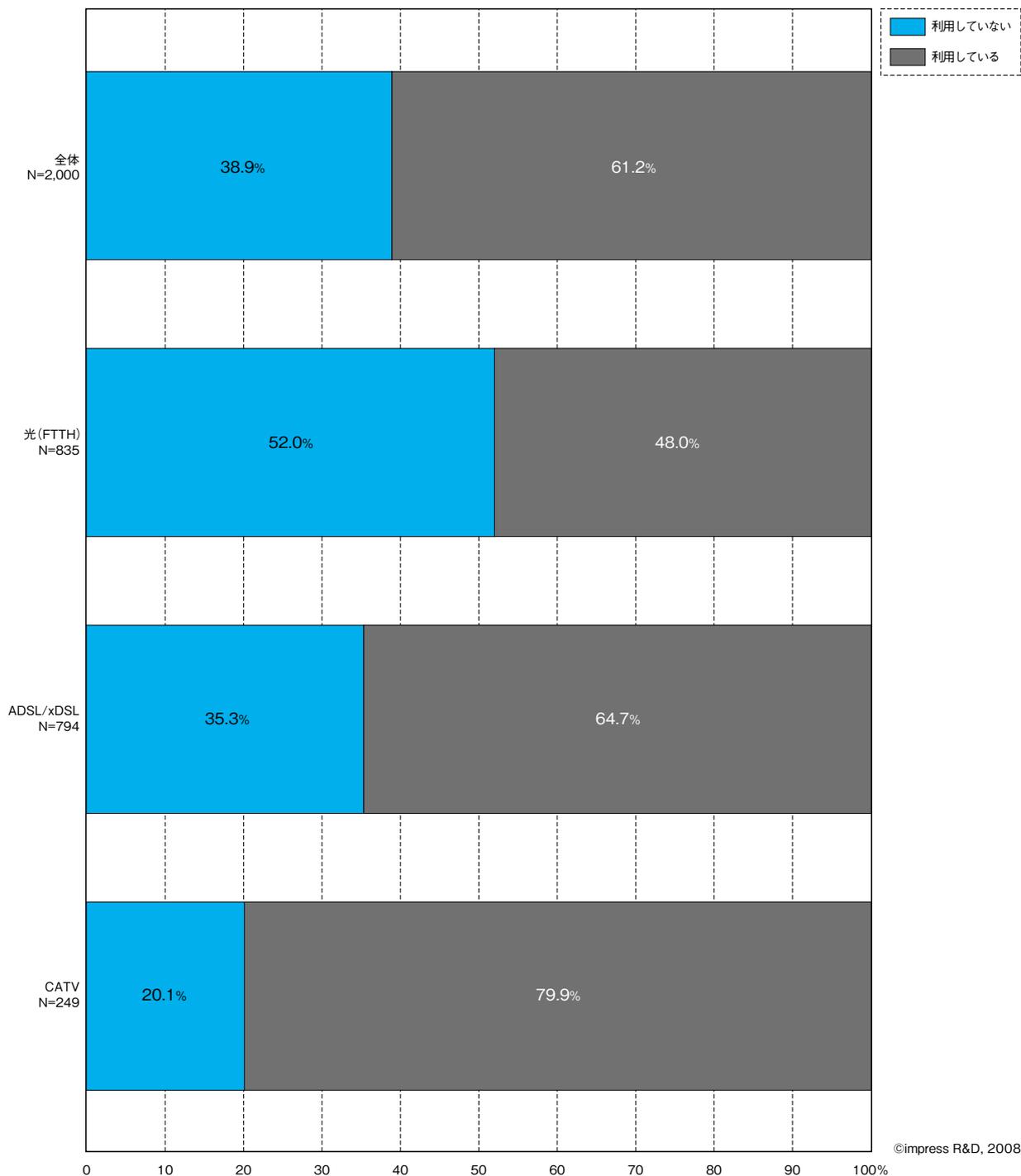


接続回線別のIP電話の認知度では、光とADSL/xDSL利用者の2割弱が詳細まで理解しており、「名前は聞いたことがある」まで含めると認知度は93%前後である。一方、ダイヤルアップでは詳細まで理解しているのは12.8%、CATVでも回線を利用した電話サービスを提供していることもあり、11.6%と低い。

## IP電話

## ■ 光利用者の半数はIP電話を利用

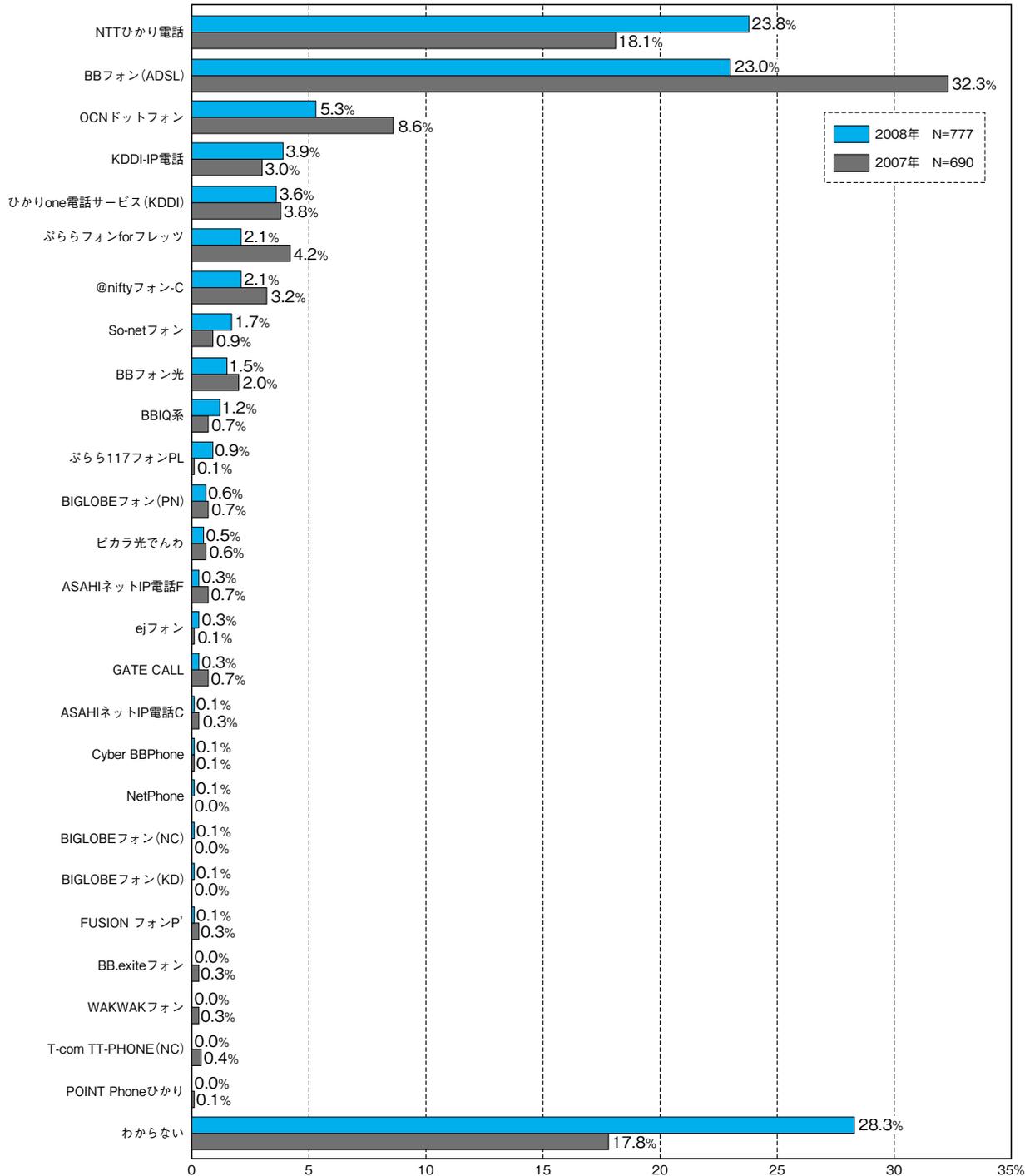
資料 6-8-3 IP電話の利用状況[接続回線別]



IP電話の利用状況を見ると、利用率は38.9%となる。接続回線別では、光(FTTH)の利用率は52.0%と半数を超え、ネット接続とともにIP電話を利用している比率が高い。また、「ADSL/xDSL」は35.3%、「CATV」は20.1%である。なお、本調査のIP電話の利用率にはCATVが提供している電話を含めている。

### ■NTTのひかり電話が躍進

資料 6-8-4 現在利用しているIP電話サービス会社(単一回答) [2007年-2008年]



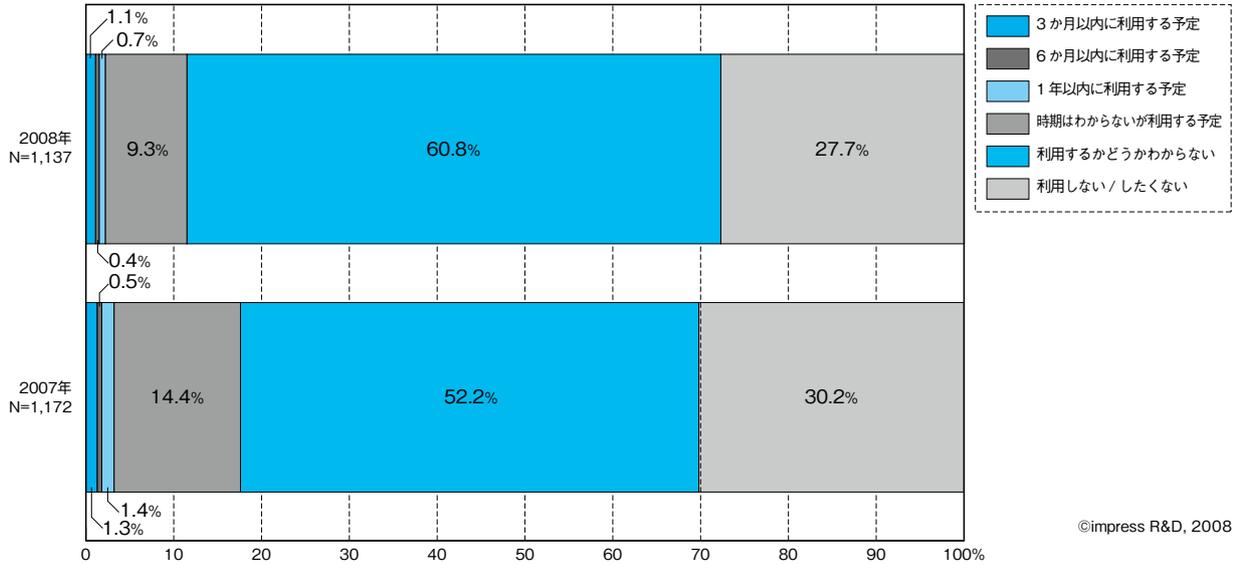
IP電話利用者(光電話や050で始まる電話番号の利用者)に、現在利用しているIP電話サービス会社をきいた。「NTTひかり電話」が23.8%で、昨年より5ポイント以上上昇し、BBフォンをわずかに逆転した。IP電話の利用番号数は光電話に代表されるOABJ番号が順調に増加しており、その傾向を反映した結果となった。

©impress R&D, 2008

# IP電話

## ■ 非利用者のIP電話利用意向は11.5%と低い

資料 6-8-5 非利用者のIP電話の利用意向[2007年-2008年]

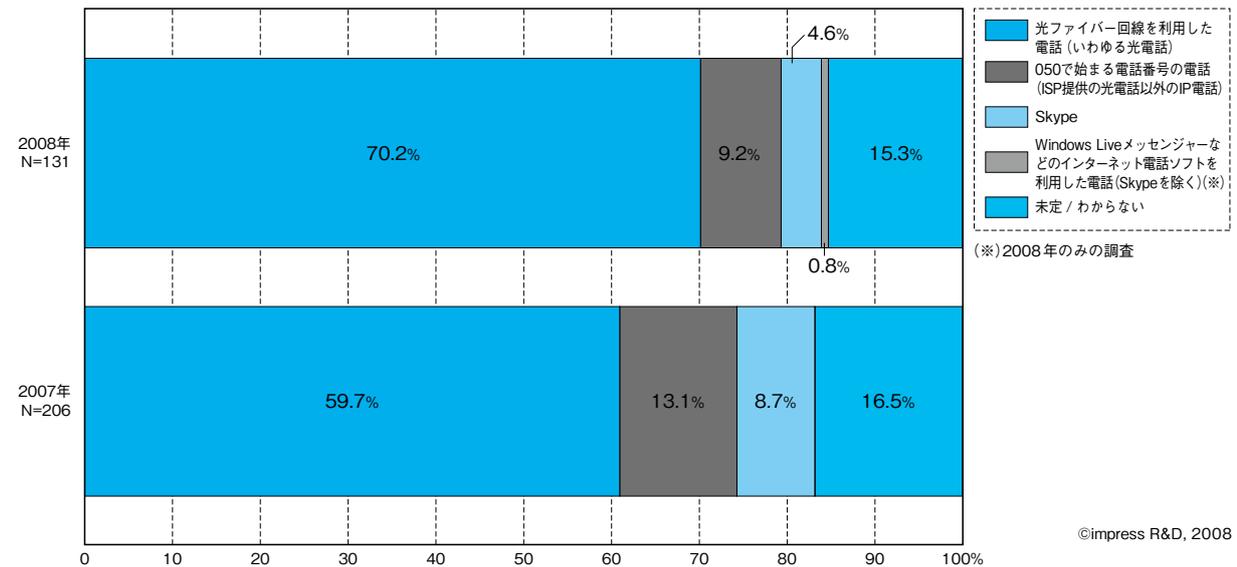


©impress R&D, 2008

IP電話非利用者の今後の利用意向では、「利用するかどうかわからない」が60.8%「利用しない/したくない」も27.7%で、9割近くが利用に消極的である。利用意向は11.5%と低いが、「利用するかどうかわからない」が増加しており、ここ数年の利用番号数の増加傾向を見ると、これらの層が利用する可能性も考えられる。

## ■ 導入予定のIP電話サービスは光電話が7割

資料 6-8-6 IP電話導入予定者のサービス種別[2007年-2008年]



(※)2008年だけの調査

©impress R&D, 2008

IP電話の利用予定者に利用予定のサービス種別を聞いたものである。トップは「光ファイバー回線を利用した電話」が70.2%と大半を占め、昨年と比較しても10ポイント以上上昇している。反対に、そのほかのサービス種別の比率は低下しており、IP電話＝光電話といった構図が確立してきていると言える。



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)